

5 統合 ICT 運用プラットフォーム “X Managed Platform™”

# 新たな ICT 運用プラットフォームを活用する マネージドサービスでシステム運用の課題を解決

NTT コミュニケーションズ（以下、NTT Com）は新たな統合 ICT 運用プラットフォーム “X Managed Platform™（クロスマネージドプラットフォーム）” の提供を 2021 年春に開始する予定だ。本稿では「NTT Communications Digital Forum 2020」の特別講演で紹介された内容について紹介する。

## システム運用の課題を マネージドサービスで解決

デジタルトランスフォーメーション（DX）に取り組む企業では「最新技術やセキュリティ対策を取り入れたい」、「市場ニーズにスピーディーかつ柔軟に対応しビジネスを加速したい」、「年々複雑化する ICT を効率的に管理したい」、「故障対応と今後のリスク回避を短時間で実現したい」などのニーズが高まっている。しかし ICT 人材不足、コスト増加、ICT 運用の複雑化、ノウハウ／スキル不足などが原因で容易ではない。NTT Com はこの課題をマネージドサービスで解決しようとしている。取締役 マネージド&セキュリティサービス部長 高岡宏昌氏は次のように述べている。

「複雑、煩雑な運用業務を運用のプロである我々にお任せいただくことで、統合的な運用による効率化、トータルコストの削減、さらにはセキュリティ確保を実現できます。お客さまは、システムの構築・運用を安心・安全かつスピーディーに行えるようになり、本来のビジネス領域の拡大、ビジネスチャンス創出につなげていただけると確信しています。」

お客さま ICT の運用に必要な共通機能をプラットフォーム化し統合的に管理。スピーディーで柔軟なマネージドサービスをリーズナブルにご提供。

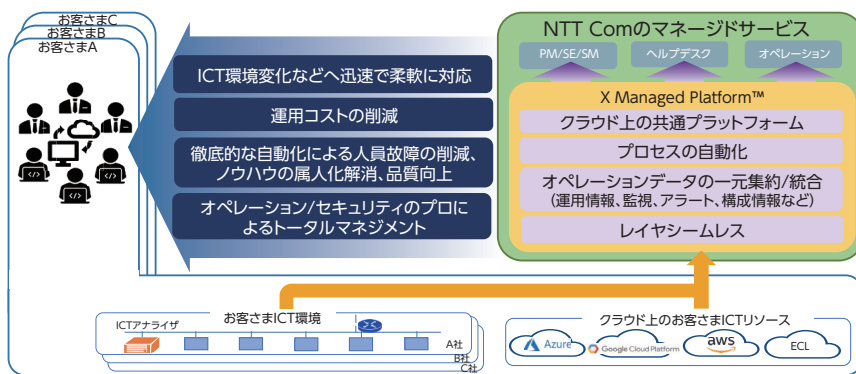


図 1 X Managed Platform™ の特徴（特別講演より）

## NTT Com のマネージドサービスを 支える X Managed Platform™

NTT Com のマネージドサービスの特徴としては、個社ニーズにカスタマイズ対応するソリューションと共通的なニーズに対応するサービス、それぞれの良さを組み合わせて複合提供できる総合力。“WideAngle” など自社セキュリティサービスとの一体提供による安全性確保。NTT が提唱する情報流通基盤 “IOWN®” の構成要素である “Cognitive Foundation®” の構想に基づき、環境変化に対応して ICT リソースを自律・安定的に最適配置可能な機能を有すること。以上 3 点が挙げられる。

これを実現する運用基盤として株式会社フィックスポイントと共同で X Managed Platform™（図 1）の開発を進めている。ICT 環境の変化にスピーディーかつ柔軟に対応。システム運用の徹底的な自動化により人為的ミスの削減や人材不足解消を実現し運用コスト削減と品質向上につなげる。オンプレミス／クラウドの ICT システムに加えネットワーク機器まで含めた幅広いリソースをレイヤーシームレスに統合管理。などの特徴が備わる予定だ。

また、今後の展望として「お客さま／NTT Com に加え他社のサービスも対象に ICT リソースの最適配備を可能にしていく」（高岡氏）との考えも語られた。